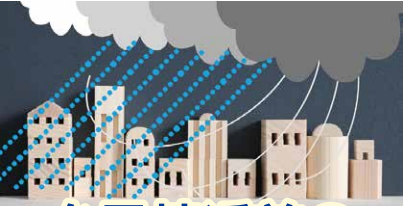


渋川市の警戒レベルと住民がとるべき行動、防災気象情報

警戒 レベル	状況	住民が とるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	自主避難 (高齢者等避難)	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当 氾濫注意情報	—
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報	1 相当 —	—



### 台風接近前の 対策にご協力を

ビニールやトタンなどが電線に引っかかると長期間の停電の原因になる場合があります。台風接近前に対策を取りましょう。

- ▷トタンやアンテナを固定
- ▷ビニールの飛散防止に努める
- ▷傾斜などで倒れそうな樹木は伐採

また、切れた電線や電柱に引っかかっているビニールや樹木を発見した場合は、感電の恐れがあるので、絶対に手を触れずに、すぐに東京電力パワーグリッド(☎0120-995-007)へ連絡してください。



### 警戒レベル3か4で 避難を!!

市は、気象庁の防災気象情報を基に、「洪水」や「土砂災害」などの災害が発生する恐れがある場合、避難情報を発令します。

#### 警戒レベル別の 避難行動の確認を

3か4で避難してください。  
台風などの進行型の災害は、その進路や勢力などが事前に分かることから、市は、市民の皆さんに災害への備えをしてもらうため、早めに避難指示などを発令します。

#### 集中豪雨への対処

突発的かつ局地的に発生する短時間強雨(集中豪雨)の発生時間や範囲を高い精度で予測することは、現在の技術ではできません。  
1時間に50ミミを超え、激しい雨が数時間続くと、道路が川のようになります。このような場合、市が警戒レベル4の避難指示を発令して、市民の皆さんに避難を促します。  
しかし、外に出て移動を始めることによって、かえって大きな危険に遭うと判断した場合は、避難情報の発令を見合わせるか、警戒レベル5の緊急安全確保を発令します。

避難する際は、周囲の状況を確認し、外に出るのが危険な場合は、建物の2階以上や崖の反対側の少しでも安全な場所に身を寄せ、命が助かる可能性の高い行動をとります。





# 命 を守るための備え、万全ですか？

9月1日は、地震や風水害への心構えを育成する「防災の日」です。災害から大切な命を守るために、災害時の情報収集手段や行動計画を再確認しましょう。

詳しくは、市ホームページ(ID112493)または  
本危機管理室(☎2130)へ。

### 災害から身を守るために

近年の地球温暖化の影響を受け、全国各地で大雨による災害が起きています。被災した人々はそろって「まさか、自分がこんなことに…」と口にします。

この「まさか」がいつか必ず渋川市にも襲ってきます。その時に備えて災害を「他人事」ではない「自分事」として捉え、「自らの命は自らが守る」、「地域の命は地域で守る」取り組みが、市内の自治会単位で始まっています。自分たちが住んでいる地域のリスクを見つめ直し、社会情勢を踏まえ、自然災害から命を守るための

自分たちができる対策を検討しています。

「避難」とは「難」を「避ける」ことであり、警戒レベル4の避難指示が発令された時は、危険な場所にいる人は全員避難することが原則です。避難先は、指定緊急避難場所や公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも選択肢の一つです。一方で、安全な場所にいる人は避難所などに行く必要はありません。

いざ災害が起きそうな時に備えて、命を守るための避難のタイミングや避難する場所などについて、ハザードマップで事前に確認しておくことが大切です。



### 災害発生時は正しい情報を

市は、災害が発生した場合や発生する恐れがある場合に、避難情報などを防災行政無線で放送します(放送が聞き取れなかった場合は、内容を電話(0800-800-7373)で確認できます)。

また、右の各2次元コードから、スマートフォンなどで確認できる情報も発信します。

▶避難所の開設・混雑情報



▶市公式LINE



▶市公式X(旧Twitter)



▶渋川ほっとメール

